

湧別町相互交流事業を通しての私の目標は、英語で現地の人と円滑にコミュニケーションをとること、ニュージーランドの学校を見て学ぶこと、そして異なる人間性や文化の違いを見ることの3つでした。

ニュージーランドで過ごした時間は、一瞬一瞬が貴重で、同時に刺激的でした。始めは英語圏での生活に対する不安がありましたが、ホストファミリーや現地の方々が温かく歓迎してくださったおかげで、充実した日々を過ごすことができました。ホストファミリーと過ごす期間は、あっという間に過ぎてしまいました。会話を通じて、普段聞いている英語との違いを肌で感じることもでき、言葉でコミュニケーションをとることの楽しさを再確認することができました。

ダーフィールドハイスクールでは、現地の学校生活を体験させていただきました。マオリ文化教室では、マオリ語で自己紹介をしたり、伝統的な織物づくりに挑戦したりと、未知の文化を体験することができました。プライマリースクールでは、児童が披露してくれたハカを見たことがとても印象に残っています。授業見学だけでなく、実際に授業をする機会もいただきました。日本とニュージーランドの違い・湧別高校について紹介したあと、ダーフィールドハイスクールの生徒に折り紙を使って鶴を折ることに挑戦してもらいました。慣れない折り紙に悪戦苦闘しながらも、助けを求めたり周りとは協力したりして取り組んでいる姿が印象的でした。外国の学校で授業を行ったことはなかったため、子どもたちの様子を直に感じることでできる貴重な経験となりました。

ニュージーランドで生活や交流を通して、ここでは自分が外国人であることを実感しました。建築様式や生活習慣、ルールからテレビのCMに至るまで多くの違いを発見し考えることができました。特に自然はとても美しく、映画でしか見たことがない風景が目の前に広がったときには思わず驚いてしまいました。国民性も日本とは少し違って興味深かったです。同じ地球に住む人間でも、歴史や文化の影響を受けて考え方や気質は変わることを実感しました。それは、日本を見つめ直す契機にもなりました。

交流事業を通して、ニュージーランドの人々だけではなく、湧別町の学生からも多くの学びがありました。参加した生徒のサポートをしながら、同時に私自身も生徒たちから積極性や挑戦する心について学びました。今後も学びを深め、興味のあることに積極的に挑戦していきます。また今回得た気づきを生徒に伝え、彼らがより広い視野を持つ手助けをしていきたいと思えます。湧別町の教育委員会の皆様、引率団の皆様、現地のスタッフの皆様をはじめ、多くの方々の支えのおかげでとても貴重な経験をすることができました。本当にありがとうございました。